

## 学校保健（保健教育）について

岡山県教育庁保健体育課 健康・安全教育班  
指導主事（主任） 加藤 嘉将

### 【内容】

- 1 がん教育について
- 2 性に関する指導について
- 3 薬物乱用防止教育について
- 4 ネット依存防止について
- 5 岡山県学校保健会について
- 6 その他

### 【資料】

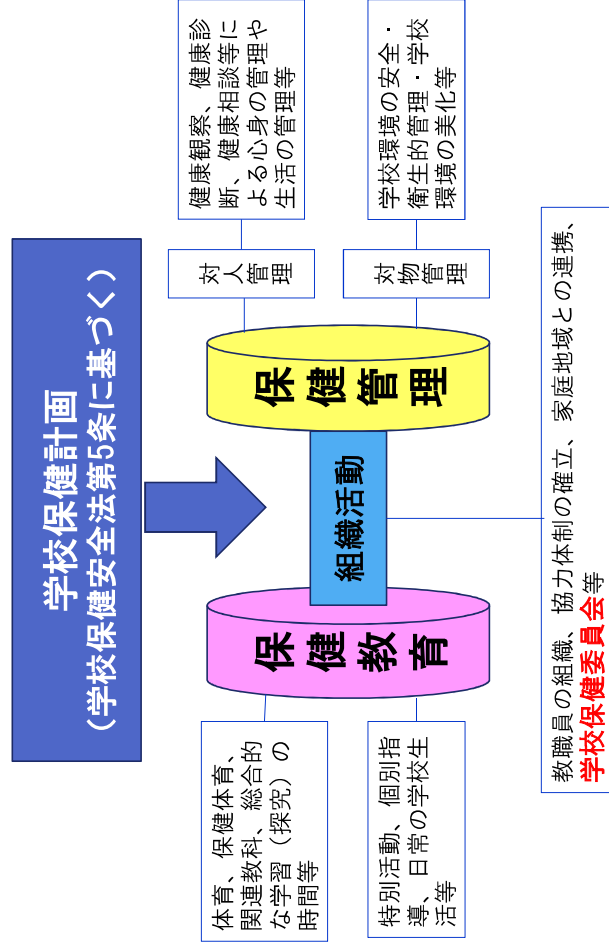
- ・「がん教育」外部講師派遣依頼について(資料1)
- ・ ネット依存防止マニュアルについて(資料2)

# 学校保健（保健教育） について

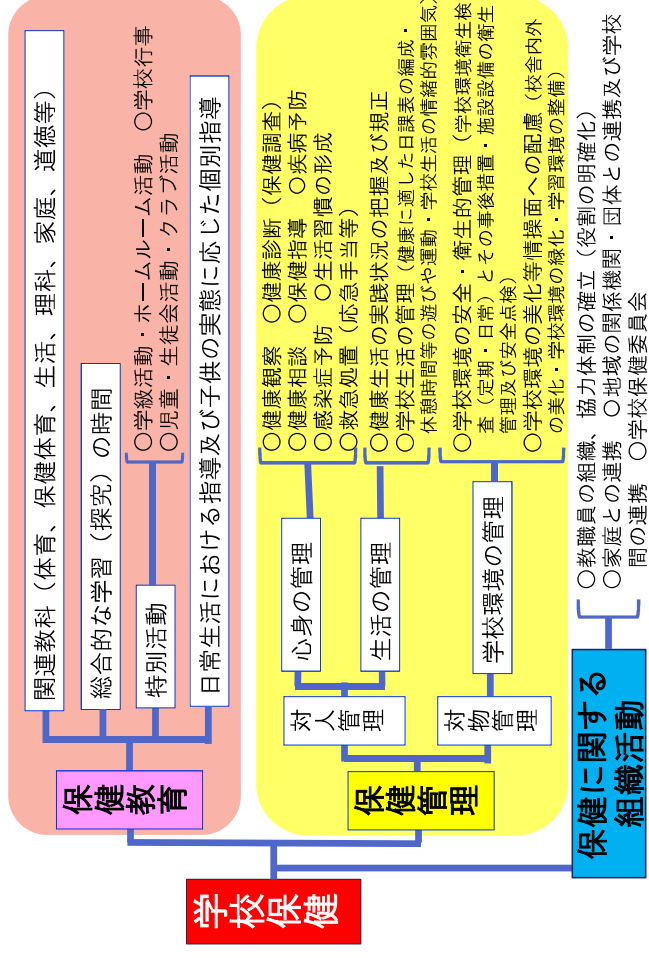
岡山県教育庁保健体育課

指導主事（主任） 加藤 嘉将

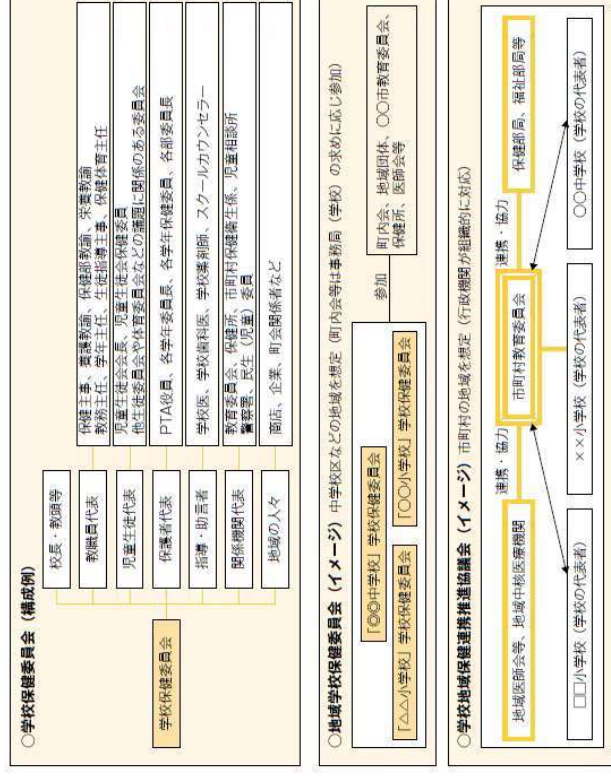
## 心身の健康の保持増進に関する指導と学校保健



# 学校保健の体系



## 学校保健委員会



## <本日の説明>

- 1 がん教育について
- 2 性に関する指導について
- 3 薬物乱用防止教育について
- 4 ネット依存防止について
- 5 岡山県学校保健会について  
岡山県学校保健研究会（浅口市大会）
- 6 その他  
(1) 岡山県学校保健推進学校表彰  
(2) 令和6年度の調査  
「学校保健概要調査」

18

## なぜ、がん教育を行うのか

### 子どもたちの生涯にわたる健康に必要だから

(第23条)  
国及び地方公共団体は、国民が、がんに関する知識及びがん患者に関する理解を深めることができるよう、学校教育及び社会教育におけるがんに関する教育の推進のために必要な施策を講ずるものとする。

○法律で定められている  
⇒がん対策基本法 第5節（第23条）

○国の計画に位置付けられている  
⇒第4期がん対策推進基本計画

- 第2 分野別施策と個別目標
- 1.がん予防
  - 2.がん医療
  - 3.がんとの共生
  - 4.これらを支える基盤
- (3)がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

※令和6年4月 第4次岡山県がん対策推進計画 策定

○学習指導要領に位置付けられている

⇒学習指導要領（中学校・高等学校校明記）

- ※中学校は第2学年  
ア (ウ) 生活習慣病などの予防  
がんについても  
取り扱う

# ！がん教育について

## ◆学校におけるがん教育とは

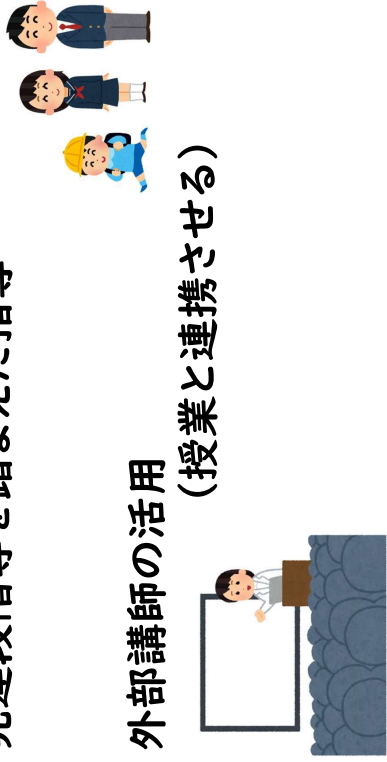
小学校(保健領域)	中学校(保健分野)	高等学校(科目保健)
<b>「健康な生活」(3年)</b> ・健康な生活 ・1日の生活の仕方 ・身の回りの環境 <b>「体の発育・発達」(4年)</b> ・体の発育・発達 ・思春期の体の変化 ・体をよりよく発育・発達させるための生活 <b>「心の健康」(5年)</b> ・心の発達 ・心と体との密接な関係 ・不安や悩みへの対処 <b>「けがの防止」(5年)</b> ・交通事故や身の回りの生活の危険が原因 となって起こるけがとその防止 ・けがの手当 <b>「病気の予防」(6年)</b> ・病気の起こり方 ・病原体が主な要因となって起こる病気の予防 ・生活行動が主な要因となって起こる病気の予防 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・喫煙の様々な禁煙活動の取組	<b>「健康な生活と疾病の予防」(1, 2, 3年)</b> ・健康の成り立ちと疾病の発生要因 ・生活習慣と健康 ・生活習慣病などの予防 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・感染症の予防 ・個人の健康を守る社会の取組 <b>「心身の機能の発達と心の健康」(1年)</b> ・身体機能の発達と個人差 ・生れに関わる機能の成熟と適切な行動 ・精神機能の発達と自己形成 <b>「傷害の防止」(2年)</b> ・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因 ・交通安全などによる傷害の防止 ・応急手当 <b>「健康と環境」(3年)</b> ・身体や空気の衛生的管理 ・生活に伴う廃棄物の衛生的管理	<b>「現代社会と健康」</b> ・健康の考え方 ・現代の感染症とその予防 ・生活習慣病などの予防と回復 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・精神疾患の予防と回復 <b>「安全な社会生活」</b> ・安全な社会づくり ・応急手当 <b>「生涯を通じる健康」</b> ・生涯の各段階における健康 ・労働と健康 <b>「健康を支える環境づくり」</b> ・環境と健康 ・食品と健康 ・保健・医療制度及び地域の保健医療機関 ・様々な健康活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加 （原則として、入学年次及びその次の年次の2か年にわたり履修）

# ◆がん教育の進め方

◆ 学校教育活動全体で推進する

◆ 発達段階等を踏まえた指導

◆ 外部講師の活用  
(授業と連携させる)



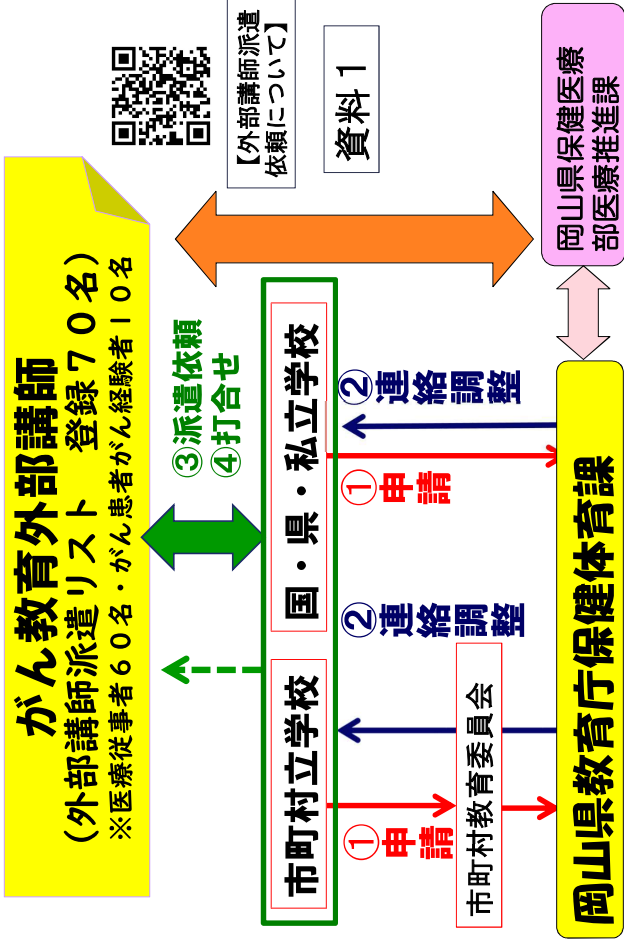
# ◆がん教育実施状況

令和4年度におけるがん教育の実施状況調査  
(文部科学省実施)

＜外部講師を活用したがん教育の実施＞ ( )内は令和3年度調査

	小学校	中学校	高等学校
岡山県	(3.0%) 2.8%	(7.8%) 11.8%	(8.3%) 10.3%
全国平均	(7.6%) 9.5%	(10.6%) 14.7%	(7.1%) 11.7%

# ◆がん教育外部講師派遣事業



## 1 外部講師派遣期間

- ・ 随時派遣可能(～3月)
- ・ 実施予定日の2ヶ月前までに申請

## 2 依頼方法

- (1) 派遣申請を行う。※メール又はFAXで随時受付【様式第1号】「外部講師派遣申請書」
- (2) 各校より依頼先へ連絡・調整
  - ①派遣申請【様式第1号】の内容確認
  - ②学校、児童生徒の現状を情報交換
- (3) (2)で詳細を説明し、最終的に外部講師派遣の了承が得られた場合  
⇒正式に派遣依頼を行う【様式第2号】【様式第3号】

## 3 その他

- ・ **謝金、旅費は学校負担**

## 2 性に関する指導について

### 性に関連する課題

- 性情報の氾濫
- スマホの普及に伴う出会いや自撮りの被害等
- 性感染症
- 男女交際
- 人工妊娠中絶
- 児童虐待(性的虐待)
- 女性アスリートの無月経・骨粗鬆症
- LGBTの理解
- 性犯罪・性被害防止 など

岡山県 年次別 梅毒発生状況  
(2013年～2023年)



資料1.感染症発生動向調査システム2013年～2023年報告より集計(2023年は暫定値)

岡山県健康推進課作成

- 性に関する指導において取り扱うべき内容  
性に関する科学的な知識とともに、次のような内容も取り扱う必要がある。

- (1) 性に関わる心理や行動に影響を及ぼす要因
- (2) 偏見・差別や性的行動を助長する性に関する誤った社会通念の改善
- (3) 性や生き方に関わる価値観の育成
- (4) 自他を尊重する健全な人間関係の形成やコミュニケーションのための心理社会的なスキルの習得

- ◆ 各項目・内容の執り所
  - ・「体育科」「保健体育科」や「家庭科」等の各教科
  - ・議論し考える特別な教科「道徳」
  - ・自己決定を目指す「特別活動」
  - ・自己の生き方を探求する「総合的な学習(探求)の時間」等

令和4年度健康教育指導者養成研修  
「性に関する指導」 筑波大学 名誉教授 野津 有司

## ○ 令和4年度の「性に関する指導」実施状況

(令和4年度学校保健概要調査より)

- 「保健体育」の授業以外での「性に関する指導」の実施(国・公・私)

小学校	中学校	高等学校
96.3%	96.4%	85.9%

### 個に応じた指導

### 内容の充実

**年間指導計画に位置付け、組織的に**  
保健体育の教科だけでなく、他教科や特別活動等  
**学校教育活動全体で行うことが重要!**

## ○ 性に関する指導の留意事項

- (1) 教育課程の枠組みと各特質を生かした年間指導計画を立て、**実践する拠り所を明確**にして、教職員の共通理解を図って取り組むこと。
- (2) 体育科、保健体育科などの学習指導要領の趣旨や内容を**正しく理解して**、適切に、着実に指導すること。
- (3) 特別活動、総合的な学習の時間等では、それらの特質を生かし、各教科の内容との関連性や児童生徒の実態を踏まえて教材等を工夫すること。
- (4) 家庭・地域との連携を推進し、**保護者や地域の理解を得ること**。
- (5) 集団指導と個別指導の連携を計画的に、効果的に行うこと。

令和4年度健康教育指導者養成研修  
「性に関する指導」 筑波大学 名誉教授 野津 有司

## 3 薬物乱用防止教育 について

### <参考> 内容充実に向けて

HPIにアドバイザー名簿等  
掲載中

◆ 青少年健全育成促進アドバイザー派遣  
(子ども・福祉部 子ども家庭課)

◆ 未来のパパ&ママを育てる出前講座  
(保健医療部 健康推進課)

- ・ 1次募集 4月22日まで
- ・ 2次募集 5月20日以降随時

(1次募集で予定数に満たない場合)

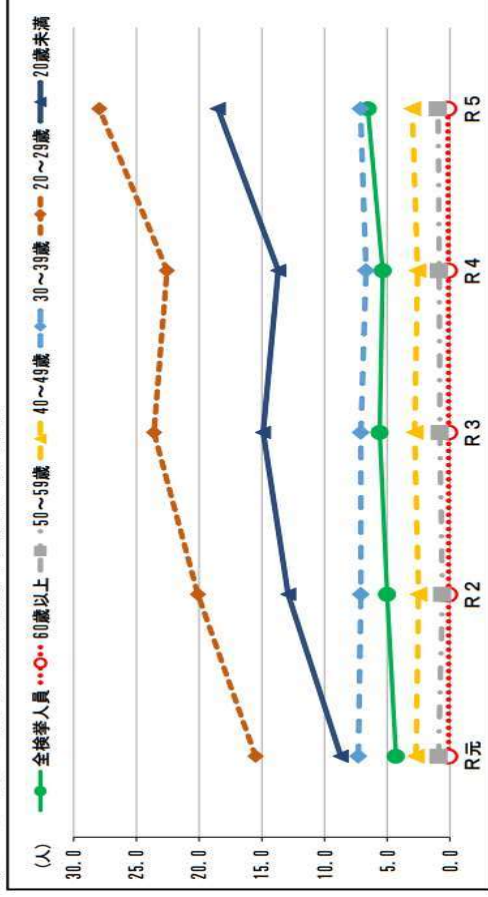
県の事業を  
有効に活用!

◆ 性に関する指導普及研修会

・ 10~11月ごろ実施予定

### 3 薬物乱用防止教育

図表2-9 人口10万人当たりの大麻専犯検挙人員の推移



出典：警察庁ウェブサイト

<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/kikakubunseki/index.html>

### 3 薬物乱用防止教育

喫煙・飲酒・薬物乱用防止のために

対処能力の育成 +

社会環境の整備

有害性や開始要因等の知識の習得  
規範意識や適切な価値観などに基づく自己制御スキル  
自尊感情、意思決定スキル  
コミュニケーションスキル  
誘いへの対処スキル  
ストレス対処スキルなどのライフスキルの育成  
法令や制度の整備  
教育の充実  
正しい情報提供

### 3 薬物乱用防止教育

薬物乱用防止教室

薬物乱用防止教育の一環として、  
警察官・麻薬取締官・医師・薬剤師・薬物乱用  
防止指導員等、薬物についての専門家を講師と  
して学校に招いて行うもの

学校での指導内容を踏まえて薬物乱用防止  
教室のテーマを検討し、適切な講師を依頼す  
ることが大切。

### 3 薬物乱用防止教育

《参考》 薬物乱用防止教育の充実について（通知）

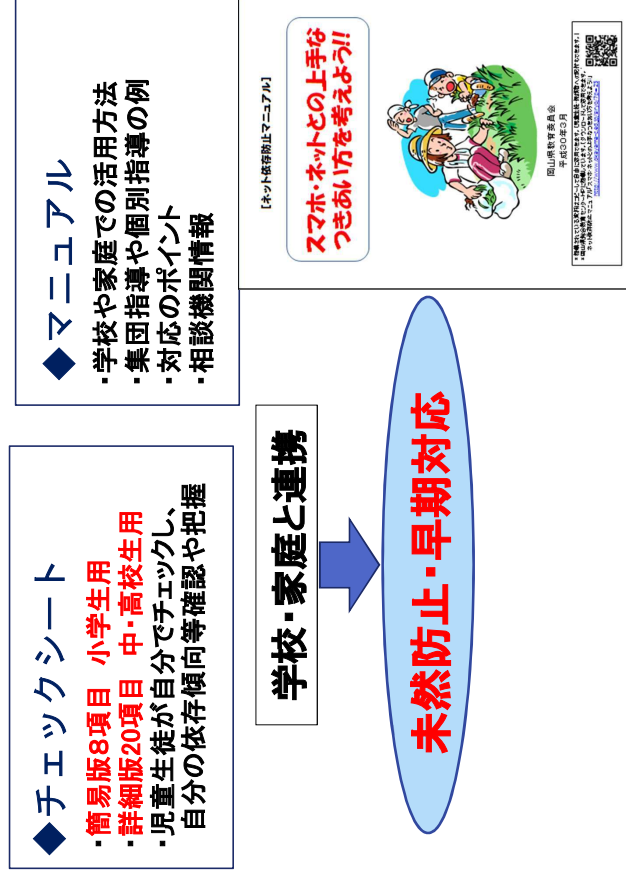
平成30年12月19日 事務連絡

- 3 薬物乱用防止教室は、学校保健計画において位置付け、  
全ての中学校及び高等学校において年1回は開催すると  
ともに、地域の実情に応じて小学校においても開催に努め  
ること。
- 4 薬物等に関する専門知識を有する警察職員、麻薬取締官、  
学校薬剤師、矯正施設職員、保健所職員、税関職員等と連携  
し、学校等における薬物乱用防止教室の充実強化を図ること。  
なお、薬物乱用防止教室は、外部専門家による指導が望まし  
いもの、国や都道府県教育委員会等が開催する研修会等に  
おいて研修を受けた薬物乱用防止教育に造けいの深い指導的  
な教員の活用も考えられること。





○「ネット依存防止マニュアル」



## 5 岡山県学校保健会 について

6 その他

(1) 岡山県学校保健推進学校表彰

「令和6年度岡山県学校保健推進学校表彰」  
の実施について

募集 令和6年6月～(予定)

(2) 令和6年度の調査について

・学校保健概要調査

令和6年12月～令和7年2月  
実施予定

岡山県学校保健研究大会について

○令和6年8月8日(木) 浅口市開催

開催地以外の部会別研究発表割り当て

- ・幼稚園部会：美作市・奈義町  
勝央町・西粟倉村
- ・小学校部会：岡山市
- ・中学校部会：倉敷市・早島
- ・高等学校部会：備前・岡山ブロック

「がん教育」外部講師派遣依頼について

岡山県教育庁保健体育課

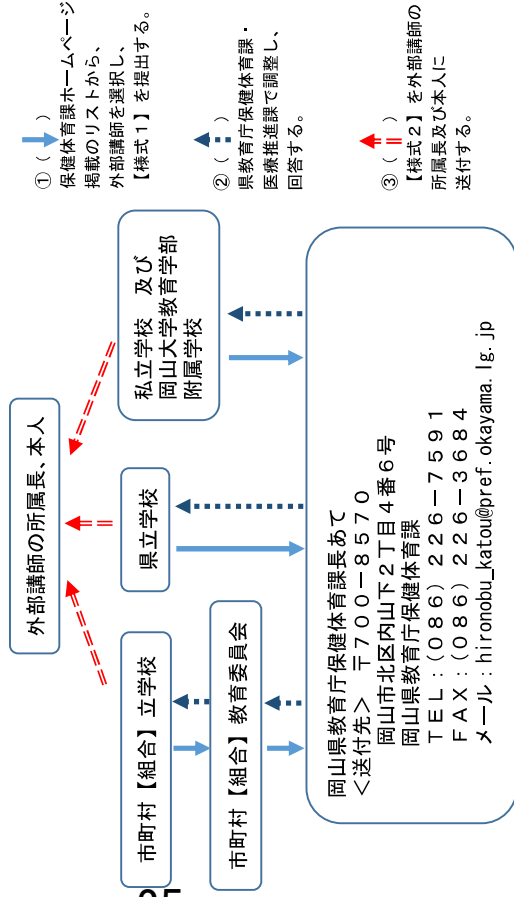
【外部講師を依頼するにあたって】

がんに関する科学的根拠に基づいた理解を狙いとした場合は、専門的な内容を含むため、学校医、がん専門医など、医療従事者による指導が効果的と考えられます。また、健康や命の大切さを狙いとした場合は、がん患者やがん経験者等による指導も効果的と考えられます。その際、例えば、各教科担任が実施する授業と、専門家等の外部講師の協力を得て実施する学校行事と関連させて指導することにより成果を上げるよう留意してください。また、授業計画の作成に当たっては、授業を企画する教員が主体となるよう留意するとともに、事前事後で十分に打合せを行うことで教育効果を高めることが期待できます。

1 外部講師派遣期間：随時派遣可能（5月～翌3月）

2 依頼方法

- (1) 派遣申請を行う。 ※メールまたはFAXにより**随時受付**。  
・【様式1】「外部講師派遣申請書」に記入し、保健体育課に提出。（市町村立学校については、所管教育委員会を通じて派遣申請を行う。）



- (2) 依頼内容を確認（県教育庁保健体育課）  
・派遣申請【様式第1号】の内容を確認。  
・日程や謝金等については、各校の担当者や外部講師が直接やりとりをする。

(3) 外部講師に正式依頼（各校）

- ・【様式2】「外部講師派遣依頼」により、外部講師に依頼する。  
・日程や謝金等については、各校の担当者や外部講師が直接やりとりをする。

3 その他

- (1) 学校医に依頼する場合は、この手順に準じて申請する必要はない。ただし、依頼内容等について事前に確認を行い、了承を得ること。
- (2) 事前事後の打合せを必ず行うこと。

※今後の参考に、実施後に、可能な範囲で活用資料や写真等、資料提供への御協力をお願いします。

県教育庁保健体育課長 殿

令和 年 月 日

学校名  
住所  
学校長名



令和6年度がんの教育に関する外部講師派遣申請書

この事業を実施したいので、次のとおり申請します。

記

内 容	( ) 生徒対象の講演会 [対象学年 年～ 年] ( ) 教職員への研修会 ( ) チームティーチングによる授業での助言等 [対象学年 年～ 年] ※ 該当するところの○をつけ、学年を記入 □ がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診について関心を持ち、がんに関して正しい知識を身に付ける □ がんについて学ぶことや、がんと向き合う人々を通じて、自他のいのちの大切さについて考える ※該当する□に○を入れる
招へい講師 希望職種	□ 医師 □ 看護師 □ 薬剤師・相談員等 □ がん患者・経験者 ※該当する□に○を入れる
招へい希望講師 ※外部講師リストの中から選択する	希望順 第1希望 第2希望 所属先 氏 名 [第1希望日] 令和 年 月 日 ( ) [第2希望日] 令和 年 月 日 ( ) [第3希望日] 令和 年 月 日 ( )
実 施 日 時	: ~
実 施 場 所	教室・体育館等、具体的に
謝 金 ・ 旅 費	
参 加 予 定 人 数	児童・生徒 ( ) 人・教職員 ( ) 人

注1) 実施日時の欄に打合せ等を含む時間を1時間単位で明記すること。

# 学校・家庭での活用と関係機関との連携

## 1 学校での活用 (未然防止・早期対応)

① ネット依存チェックシートで実態把握



② 学級活動や生徒会活動等を通して

**未然防止**

## 2 家庭での活用 (生活改善に向け、子どもと一緒に考える)

- (1) 家族が抱く心配事や不安は共通しています。
- (2) 戸惑いや心配ではなく、別の視点から原因を探ることも必要です。
- (3) 家庭でもチェックシートを活用することで、依存傾向が高い場合は、「個別指導チェックシート」を活用し、観察を行い、必要に応じて介入していきます。
- (4) 学校と情報交換を行い、介入方法を検討し、子どもと一緒に気になることなどを共有して、生活改善に向けて目標を設定するとともに、目標を見失わないよう見守り、必要に応じて援助します。
- (5) 「改善されない」「状況の悪化」など、必要があれば相談機関への相談も検討します。

② 依存傾向が高い場合は、保護者・関係機関と連携

**早期対応**



(参考) ネット依存防止マニュアル (H30 岡山県教育委員会)  
P.2 「Ⅱ 学校・家庭での活用と関係機関との連携」

# 効果的な指導のために

1

**児童生徒が楽しいと感じる「魅力ある学校づくり」**

現実との関わりを面倒に感じはじめると、ネット依存が加速していく傾向があります。児童生徒が「楽しい」と感じることができる魅力ある学校づくりが大切です



2

**全教職員での共通理解**

学校長のリーダーシップもと、保健主事、学校保健担当者、情報教育担当者等を中心に全教職員が共通理解した上で、ネット依存チェックシートを実施します。その結果から、集団指導や個別指導につなげていきます。



3

**フォローアップの必要性和重要性**

学期1回程度のチェックシートの実施により、状況の変化を確認し、フォローアップしていくとより効果が高まります。



4

**保護者・相談機関との連携**

欠席や遅刻が増えるなど、生活リズムが乱れたり、ネットに係る不安や心配がある場合は、早めに保護者・相談機関と連携を図ることが大切です。



### VI 「様式1」スマホ・ネットとのつきあい方チェックシート

○これは、あなたのインターネットへの依存傾向（はなれられない状態）を確かめるものです。  
 ○まず、あなたがだいたい何時頃に寝て、何時頃に起きるかを記入した後、次の①～⑧の項目で、あなたの気持ちに当てはまるものに「○」をつけてください。  
 ○利用する機器は、パソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機などオンラインでつながっているものすべてを含みます。

( )年( )組( )番 名前( )  
 【あなたは普段、何時頃に寝て、何時頃に起きますか】  
 ・寝る時間は( )時頃 ・起きの時間は( )時頃

	項 目	「○」欄
①	インターネットに夢中になっていると感じていますか？	
②	満足感を得るために、インターネットを使う時間を長くしたいと感じていますか？	
③	インターネットの使用を制限したり、時間を減らしたり、完全にやめようとして失敗したことがたびたびありましたか？	
④	インターネットの使用時間を短くしたりやめようとする、落ち着かなかつたり、不機嫌になつたり、落ち込んだり、イライラしたりしますか？	
⑤	使い始めに思っていたよりも、長い時間、インターネットをつないだ状態でいますか？	
⑥	インターネットのために、大切な人間関係、学校のことや部活動のことを台無しにしたり、危うくなるようなことがありますか？	
⑦	インターネットへの熱中のしすぎを隠すために、家族、先生やそのほかの人たちに嘘をついたことがありますか？	
⑧	自分にふりかかった問題から逃げるため、または絶望、不安、落ち込みといったいやな気持ちから逃げるために、インターネットを使いますか？	

あなたの「○」の数は

個

(参考) ネット依存防止マニュアル (H30 岡山県教育委員会)  
 P.10 「VI」様式1」スマホ・ネットとのつきあい方チェックシート」

### VI 「様式2」スマホ・ネットとのつきあい方チェックシート

①インターネットに関する以下の質問にお答えください。  
 ②この場合、利用する機器は、パソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機などオンラインで使用するすべてを含みます。  
 ③各質問の1～20について次の1から5の回答の中から、最もあてはまる番号を1つ選び、番号に「○」をしてください。  
 自分に關係のない質問であれば「全くない」を選んでください。

( )年( )組( )番 名前( )

	質問項目	全く ない	それ もある	時々 ある	よく ある	いつも ある
①	気がつくと思っていたより長い時間、ネット等を利用していることがある。	1	2	3	4	5
②	長い時間ネット等を利用してために、家の手伝いや役割をおそかにすることがある。	1	2	3	4	5
③	家族や友達と過ごすよりも、ネット等の利用を優先したいと思うことがある。	1	2	3	4	5
④	ネット等を介して、新しく知り合い(友人を含む)を作ることがある。	1	2	3	4	5
⑤	まわりの人から、ネット等の利用時間や回数について注意されたことがある。	1	2	3	4	5
⑥	ネット等をしている時間が長く、学校の成績に影響することがある。	1	2	3	4	5
⑦	ネット等への関わりが原因で、勉強の能力に悪影響が出ることもある。	1	2	3	4	5
⑧	他にやらなければならないことがあっても、まず先に、LINE(ライン)やTwitter(ツイッター)、Facebook(フェイスブック)、メールなどをチェックすることがある。	1	2	3	4	5
⑨	人に、ネット等何をしていいのか聞かれたとき、いわけをしたり、隠そうしたりすることがある。	1	2	3	4	5
⑩	日々の生活の問題から気をそらすために、ネット等で時間を過ごすことがある。	1	2	3	4	5
⑪	気がつけば、また次のネット等の利用を、楽しみにしていることがある。	1	2	3	4	5
⑫	ネット等のない生活は、退屈で、むなく、わびしいだろうと不安に思うことがある。	1	2	3	4	5
⑬	ネット等を利用して、真中に誰かに邪魔されると、いらいらしたり、怒ったり、言い返したりすることがある。	1	2	3	4	5
⑭	夜遅くまでネット等に関わることが原因で、睡眠時間が短くなっている。	1	2	3	4	5
⑮	ネット等をしていないときでも、ネット等のことを考えてぼんやりしたり、ネット等をしているところを監視したりすることがある。	1	2	3	4	5
⑯	ネット等をしているとき「あと数分だけ」と自分で言い訳していることがある。	1	2	3	4	5
⑰	ネット等をする時間や頻度を減らそうとしても、できないことがある。	1	2	3	4	5
⑱	ネット等をしている時間や回数を、人に隠そうとすることがある。	1	2	3	4	5
⑲	誰かと外出するより、ネット等を利用することを選ぶことがある。	1	2	3	4	5
⑳	ネット等をしている時は何となく、ネット等をしていない時はいらいらしたり、憂鬱な気持ちになつたりする。	1	2	3	4	5

★あなたが寝る時間と起きる時間は何時頃ですか。  
 寝る時間は( )時頃  
 起きる時間は( )時頃

○をした数はいくつですか？

x1	x2	x3	x4	x5

各項目の得点はいくつですか？

--	--	--	--	--

<言葉の説明>  
 まれにある:今までに1～2回程度  
 時々ある:3回以上回数  
 総得点はいくつですか？

(参考) ネット依存防止マニュアル (H30 岡山県教育委員会)  
 P.12 「VI」様式2」スマホ・ネットとのつきあい方チェックシート」

# 1 個別指導用チェックシート(相談・観察用) 傾向チェック

分類	項目	内容	ある	なし	分からない
身体的健康	(1) 体力面	以前より疲れやすい、または体力が落ちたように見える。			
	(2) 栄養面	間食が増えているように見える。			
睡眠リズム	(1) 就寝時間が24時を過ぎることが多い。 (1週間の半分以上が目安)				
	(1) ネットをしていない時でも、頭がネットのことでいっぱいになっていくように思う。 (話しかけても気づかない、ぼーっとして上の方のように見える)				
精神的健康	(2) ネットをしていない時は、イライラしやすく、無気力になることがある。				
	(1) 遅刻・早退・欠席が増えている。 (1か月のうち学校が20日以上程度が目安)				
学業	(1) 家庭内暴力・暴言 (親子関係悪化)	ネットの話題が共有できない、家族関係がぎくしゃくしている。ひどいときは物を壊したり暴力をふるう。			
	(2) 友人関係悪化	今までつきあっていた友達と遊ばなくなり、ネット上での友達のことばかり話し始めた。			